

(書式3)

## 指導方法の課題分析と授業改善策

教科名	美術	教科主任	河内 智香子
-----	----	------	--------

### 1. 指導方法の課題と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画

#### <第1学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・全体的に美術に興味・関心をもち発想力豊かな生徒が多いが、技術的な能力は低い。そのため、道具の有効活用法や技法の基本をしっかりと指導する。</li><li>・発想に自信がない生徒が多いため、自己肯定感の向上を検討する必要がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ICTや視覚的教材を積極的に活用し、机上の整理や道具の使い方をこまめに指導する。</li><li>・鑑賞授業の中で、他者と自分のとらえ方の違いに素直に気付かせ、個々の良さを褒め自信をもたせる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・基礎的な技法を含めながら、発展的に取り組めるよう、自主課題の活用で、イラストに親しむ時間を増やし、自宅での学習習慣を付けるための支援をする。</li><li>・夏休みや昼休み、放課後に作品制作の補充授業を実施する。</li></ul>

#### <第2学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・技術的な基礎能力は、定着してきている。しかし、発想や構想の能力の成長が不足している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・アイデアスケッチの段階で、図書室の利用や図書館から借りた資料に多く触れる時間を作るようにし、いろいろな角度から発想しやすい環境を作るようにする。</li><li>・鑑賞授業を少しの時間でも取り入れるようにし、多くの作品とふれ合うことで発想力を育成する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・一つの単元の指導時間に余裕をもたせ、生徒の立場から見て難しい部分を見極めた上で、苦手な分野の補充指導を行う。</li><li>・夏休みや昼休み、放課後に作品制作の補充授業を実施する。</li></ul>

#### <第3学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・発想力、技能力、共に成長しており、多くの生徒の画力が向上しているが、その分能力に大きな差が出てきている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・個々に応じた目標や計画を立てさせるようにし、その能力に適した指導をする。</li><li>・できるだけ多くの補充教室を実施し、全員の力が向上できるようにする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・夏休みや昼休み、放課後の補充教室を勧め、試行錯誤の活動を促し、苦手な分野の補充指導を行う。</li></ul>